

令和 2年度 行政評価事業別シート

	実計対象 <input type="checkbox"/>	評価対象 <input checked="" type="checkbox"/>	新規 <input type="checkbox"/>	完了事業 <input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業 <input type="checkbox"/>	担当者	島田
	全体計画			経費区分	経常的経費	内線	3642
事務事業名	4296 幼稚園助成事業						
所 属	300200 教育委員会事務局・子ども課						
施 策	02020900 子育て環境の充実						
予算 科目	会計	01 一般会計					
	科目	100501 教育費・幼稚園費・幼稚園費					
	事業	010000 幼稚園助成事業					
事業目的				事業概要・効果			
幼児教育の振興を図るため				市内の6私立幼稚園の運営の安定化が図れた。また、特別支援保育対策事業補助金を交付して特別に支援が必要な児童の受け入れの促進を図れた。 須坂双葉幼稚園の認定こども園化に対して補助金を交付して支援する。			

PLAN-DO
年度実績及び予定

平成27年度 実績	平成28年度 実績
私立幼稚園補助金 4,045,500円 特別支援保育対策事業補助金 3,169,875円	私立幼稚園補助金 3,495,000円 特別支援保育対策事業補助金 3,480,000円
平成29年度 実績	平成30年度 実績
私立幼稚園補助金 2,904,000円 特別支援保育対策事業補助金 3,480,000円 施設整備事業補助金 111,424,000円	私立幼稚園補助金 2,394,000円 特別支援保育対策事業補助金 3,480,000円
平成31年度 実績	令和 2年度 予定
私立幼稚園補助金 2,394,000円 特別支援保育対策事業補助金 3,480,000円	私立幼稚園補助金 2,394,000円 特別支援保育対策事業補助金 3,480,000円

指標名	無し					
算式						単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和 2年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和 2年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和 2年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						

事業費

(単位：千円)

		平成31年度 決 算	令和 2年度 予 算
事業費		16,528	36,729
特定 財源	国庫支出金	6,880	16,050
	都道府県支出金	3,708	8,340
	地方債	0	0
	その他	0	0
一般財源		5,940	12,339
人員数 (人)	正規職員	0.0	0.5
	嘱託職員	0.1	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
人 員 コスト	正規職員	0.0	3,632.5
	嘱託職員	282.9	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
	計	282.9	3,632.5
市民一人当たりの経費		0.3	0.8
総額		16,810.9	40,361.5

(単位：千円)

平成31年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	0	
13節 委託費	0	
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	16,528	私立幼稚園補助金2,251、特別支援対策事業補助金1,215 扶助費13,062
その他	0	

(単位：千円)

令和 2年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	0	
12節 委託費	0	
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	36,729	私立幼稚園補助金2,394、特別支援対策事業補助金3,480 扶助費30,855
その他	0	

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	必要不可欠
評価コメント	幼児教育・保育の実施により幼児教育の必要性は高まっている	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	大変有効
評価コメント	私立による幼児教育の提供は大変有効	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	向上
評価コメント	私立による幼児教育の提供は大変効率的	

振り返り（決算年度の取組み課題）
幼児教育・保育の無償化により私立による幼児教育の提供は大変有効

ACTION

1次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

総合評価コメント

私立幼稚園、認定こども園の運営の安定化が図られた。

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

2次評価コメント

市内では、幼児教育施設は私立のみ。経営の安定は大変重要。

外部評価

次年度以降の方向性	
-----------	--

外部評価コメント

--